

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 17日

青森知事 殿

提出者

住 所 青森県上北郡横浜町字雲雀平1-6

氏 名 日本ホワイトファーム株式会社  
代表取締役 朝山 晃行

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0175-78-2474

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

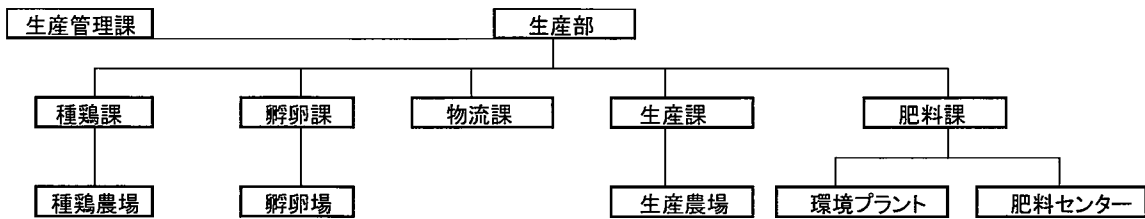
事業場の名称	日本ホワイトファーム(株) 東北生産部種鶏課孵卵課
事業場の所在地	青森県むつ市川内町田野沢393-1
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	農業
②事業の規模	9.5億円
③従業員数	58名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃プラスチック類：処分業者へ委託→切断圧縮 ・木くず：処分業者へ委託→切断圧縮 ・感染性廃棄物：処分業者へ委託→焼却溶解 ・鶏糞：自社再生利用→発酵肥料化

（日本工業規格 A列4番）



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



木くず、廃プラスチック類、紙くず、感染性廃棄物、廃タイヤ、汚泥

責任者 → 収集・運搬業者に収集依頼 → マニフェストを発行して引き渡し

自社運搬し、処分業者に委託 → マニフェスト発行

家畜の死体は自社運搬して処理業者に委託 → マニフェスト発行

鶏糞は自社運搬して自社施設で醗酵肥料化、一部自社施設でボイラー原料利用→日報にて集計管理

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	排 出 量	6.55 t	5.20 t
	（これまでに実施した取組）		
	肥育管理の改善を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	排 出 量	6.00 t	4.00 t
	（今後実施する予定の取組）		
	現状通り		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くずは分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 4 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
排 出 量	10.48 t	2.05 t	12.98 t	1,421.60 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
排 出 量	10.00 t	1.50 t	12.00 t	1,300.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 4 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
排 出 量	0.33 t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
排 出 量	2.00 t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	995.12 t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	900.00 t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	426.48 t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	400.00 t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組）  特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組）  特に実施していない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	全処理委託量	6.55 t	5.20 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	（これまでに実施した取組）  委託基準に従って、産業廃棄物処理を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
全処理委託量	10.48 t	2.05 t	12.98 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和 4 年度実績）】

産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
全 処 理 委 託 量	0.33 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.33 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.33 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t



## (第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物（木くず廃プラ）
	全 処 理 委 託 量	6.00 t	4.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組）  可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。また、再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	鶏糞紙くず混じり	その他の汚泥	動物のふん尿
全 処 理 委 託 量	10.00 t	1.50 t	12.00 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	-	-	-
全 処 理 委 託 量	2.00 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.00 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	2.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。